

【8】摩訶波闍波提小伝——結びにかえて

[1] 以上摩訶波闍波提の生涯と彼女にちなんでもうけられた比丘尼の制について検討してきた。略年譜を作ってまとめとしたい。しかしこれはあくまでも作業仮説としてのものであり、研究が進めば大いに修正の余地があることを前提としていることをお断りしておきたい。

なお年齢はもちろんすべて「頃」と書くべきであるが、これを省略する。

また直接の関係はないが、阿難の年譜も付け加えた。これらについても確たる証拠はないが、森の「阿難伝試稿」⁽¹⁾にしたがった。阿難は釈尊の24歳の年に生れ（この時を1歳とする）、成道10年に22歳で出家し、32歳の時に侍者になった、という仮説である。阿難は釈尊の入滅時に自ら「頭に白髪が生えた者 (sirasmim phalitāni jātāni)」⁽²⁾と言っており、ここではこれを57歳と想定している⁽²⁾。

釈尊		摩訶波闍波提と関連記事		難陀 年齢	阿難 年齢
年齢	成道	年齢	記事		
		1	釈迦国デーヴァダハ城にマーヤーの妹として生れる。		
		12	マーヤーとともに浄飯王の妻となる。		
1		13	釈尊誕生。その養母となる。		
15		27	難陀を生む	1	
17		29?	Nandāを生む?		
24		36	阿難誕生す		1
29		41	釈尊出家する		
35		47	釈尊成道する		
40	5	52	難陀出家する	26	
45	10	57	阿難出家する		22
48	13	60	釈尊帰郷してラーフラ出家する。 摩訶波闍波提、優婆夷となる。		
55	20	67	阿難侍者となる		32
58	23	70	浄飯王没		
59	24	71	新衣を布施する		36
60	25	72	出家を許されて最初の比丘尼となる。		37
63	28	75	比丘尼たち新参比丘の礼拝について要請する。 比丘尼サンガ成立する。		
80	45	92	摩訶波闍波提、釈尊の入滅3ヶ月前に入滅する。		57

(1) 前掲。なおここでは阿難の年齢を出胎から数えているから、年齢に1歳の誤差がある。

*Mahāpajāpatī Gotamī*の生涯と比丘尼サンガの形成

- (2) *SN*. 016-011 (vol. II p.217)。『雑阿含』1144 (大正 02 p.302 下)、『別訳雑阿含』119 (大正 02 p.417 下) 参照。

【付記】本稿は、本澤が資料を収集してこれをもとに粗原稿を作り、これらを森が再点検した後に最終原稿として完成させたものである。